

2月1日(日)「第36回ヒロインズカップ」(BG1)の結果**～鋭い末脚を見せたサクラヒメ号が昨年に続く連覇達成！～****～今井千尋騎手は悲願の重賞初制覇！～****～女性騎手による重賞制覇はばんえい競馬史上初！～**

2026年2月1日(日)に行われた「PayPay 銀行杯 第36回ヒロインズカップ」(4歳以上牝馬オープン・BG1)は、ゴール前で驚異の末脚を見せたサクラヒメ号が見事優勝しました。

馬場水分1.7%、5歳から8歳の牝馬10頭で争われた本レース。道中は第一障害を先頭で越えたスカーレット号が先行しますが、中間点を過ぎたあたりでスーパードリーム号が先頭に並び2頭でペースを引っ張ります。これにニシキマリン号ら後続も追走しますが、各馬じっくりと何度も息を入れながら進み、わずかにスカーレット号が抜け出し第二障害に到達します。

2番手以下が続々と第二障害に到達する中、じっくりと息を入れたスカーレット号とニシキマリン号、カフカ号がほぼ同時に登坂を開始。その中で、スカーレット号が一步一步力強く登坂し先頭でクリア。間を置いてダイヤカツヒメ号、サクラヒメ号が続きます。

懸命に逃げるスカーレット号でしたが、残り20mで外から強襲したサクラヒメ号が末脚鋭く一気にかわして先頭に。今井千尋騎手は手綱をもったまま、後続との差を離して勝利。昨年に続く連覇を達成。騎乗した今井千尋騎手は嬉しい重賞初制覇となり、ばんえい競馬史上初の女性騎手による重賞制覇を果たしました。

2着にはゴール手前でスカーレット号をかわしたダイヤカツヒメ号が入り、スカーレット号は3着に入りました。

サクラヒメ号を管理する今井茂雅調教師は、この馬で制した昨年に続く「ヒロインズカップ」連覇となりました。

記

<サクラヒメ号のプロフィール> ※2026年2月1日現在

生年月日・毛色：2018年5月12日(牝8歳・鹿毛)

血統：父 キタノイチオク 母 桜子 (母父) ヤエノテンリユウ

生産者：野澤 保子氏

馬主：城川 悟子氏

厩舎：今井 茂雅厩舎

通算成績：82戦39勝(うち重賞8勝)

**【今井茂雅調教師のコメント】**

本当にすごい馬だと改めて思いました。体調があまり良くない時期があり、年齢的にも使うか迷ったのですが、厩舎スタッフや獣医さん、関係者の皆さんのおかげで出すことができました。

とてもありがたい話で、オーナーが娘に騎乗のチャンスを与えてくれました。

レースについては落ち着いて騎乗してくれたらと思っていました。手強い相手が多かったですが、馬自体の調子は悪くなかったので、何とか最後まで引っ張ってゴールしてくれました。

騎手の騎乗についてはまだまだこれからですが、この経験は一生残りますし、なかなか乗りたくても乗れない馬だったので良かったと思います。

今後のレースについては馬の体調を見ながら判断し



て、最後は無事に繁殖へ送り出してあげたいと思います。

沢山のファンの方々から応援や贈り物をいただき、この馬のおかげで今井厩舎もかなり盛り上がっています。これからもばんえい競馬をよろしく願います。

【今井千尋騎手のコメント】

いまだに信じられない気持ちの方が大きいです。レース前は一番ハンデを背負っているのでも、馬なりに進んで行くことを考えていました。レースが始まり、馬が自分でゴールを目指して曳いてくれているのが伝わってきて、やっぱり強い馬だと改めて思いながら騎乗していました。

気持ちの強さがすごい馬ですが、今まで力を発揮させてあげることができず、最後の最後まで重賞制覇が延びてしまったので、サクラヒメに申し訳ない気持ちでした。自分の焦った気持ちで大変なレースをさせてしまったことがありますが、サクラヒメの方がレースを教えてくれました。今日は勝てて本当に良かったです。

これからも応援よろしく願います。

以 上

<報道関係者 各位>

ご多用の折、誠に恐縮ではございますが、ぜひ取材についてご検討の程よろしくお願い申し上げます。ご不明な点がございましたら以下までご連絡ください。

ばんえい十勝 広報担当 藤田・中村・高尾

〔電話〕帯広競馬場 0155-34-0825(代)

※火・水曜除く9:30~18:15 薄暮開催日(土・日・月)11:00~19:00

〔ばんえい十勝公式ホームページ〕<https://www.banei-keiba.or.jp/>